ふそう スーパーグレート、エアロエース、エアロクィーンの
制動装置（エキスパンダー）のリコールについて

ふそう スーパーグレート、エアロエース、エアロクィーンの制動装置（エキスパンダー）について、令和元年8月6日に下記のリコールを国土交通省に届け出ました。ご愛用車の措置について、販売会社から早急にご連絡・ご相談をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

ユーザの皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますことを、心よりお詫び申し上げます。

リコール届出番号	4548	リコール開始日	令和元年 8月 7日
不具合の部位(部品名)	制動装置（エキスパンダー）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	エアサスペンションを装着した大型トラック・バスにおいて、リヤブレーキシューを固定しているスプリングの設定が不適切なため、走行時の振動入力によって当該シューが振動してクリップ（シュークリアランスを調整するアジャスターを保持している部品）を叩き、クリップが変形又は破損することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、シュークリアランスが増大し、最悪の場合、リヤブレーキの制動力が低下するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、リヤブレーキシューを固定しているスプリングを対策品に、車両下側のクリップを新品に交換する。なお、上側クリップについては、変形・破損が認められた場合は新品に交換する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
三菱	QKG-FV64VJR	「ふそう スーパーグレート」	FV64VJ-520002～FV64VJ-525020 平成28年1月22日～平成29年11月20日	43	
	QPG-FP64VDR		FP64VD-520001～FP64VD-525572 平成27年12月7日～平成30年7月4日	1,750	
	QPG-FP64VER		FP64VE-520001～FP64VE-525148 平成28年1月19日～平成30年4月27日	467	
	QPG-FP64VGR		FP64VG-520001～FP64VG-525059 平成28年1月22日～平成30年7月23日	135	
	QPG-FU64VY		FU64VY-520001～FU64VY-525031 平成28年2月5日～平成29年8月24日	92	
	QPG-FU64VZ		FU64VZ-520001～FU64VZ-525389 平成27年11月10日～平成29年8月30日	2,226	
	QPG-FU65VZ		FU65VZ-520001～FU65VZ-525062 平成27年12月24日～平成29年8月29日	249	
	QPG-FV64VJR		FV64VJ-520001～FV64VJ-525021 平成28年1月21日～平成29年12月21日	20	
	QPG-FV64VZ		FV64VZ-520001～FV64VZ-525050 平成28年1月22日～平成29年8月29日	211	
	2KG-FV74HJR		FV74HJ-500003～FV74HJ-500045 平成30年1月12日～平成30年11月8日	28	
	2PG-FP74GGR		FP74GG-500003～FP74GG-500018 平成30年5月29日～平成31年1月30日	16	
	2PG-FU74GY		FU74GY-500001～FU74GY-500046 平成29年7月31日～平成31年3月4日	46	
	2PG-FU74GZ		FU74GZ-500001～FU74GZ-500155 平成29年4月19日～平成31年2月19日	154	
	2PG-FU74HY		FU74HY-500002～FU74HY-500091 平成29年4月20日～平成31年2月28日	90	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 の範囲及び製作期間	リコール 対象車の台数	備考
三菱	2PG-FU74HZ	「ふそう ｽｰﾊﾟｰｸﾞﾚｰﾄ」	FU74HZ-500003～FU74HZ-502152 平成 29 年 4 月 19 日～平成 31 年 3 月 6 日	2,148	
	2PG-FU75GZ		FU75GZ-500002～FU75GZ-500004 平成 29 年 9 月 22 日～平成 30 年 5 月 30 日	3	
	2PG-FU75HZ		FU75HZ-500003～FU75HZ-500377 平成 29 年 4 月 24 日～平成 31 年 3 月 6 日	375	
	2PG-FV74GZ		FV74GZ-500001～FV74GZ-500023 平成 29 年 5 月 10 日～平成 31 年 1 月 28 日	23	
	2PG-FV74HJR		FV74HJ-500004～FV74HJ-500036 平成 30 年 1 月 17 日～平成 30 年 10 月 9 日	15	
	2PG-FV74HZ		FV74HZ-500003～FV74HZ-500295 平成 29 年 4 月 24 日～平成 31 年 2 月 22 日	293	
	2RG-FP74HDR		FP74HD-500005～FP74HD-500898 平成 29 年 10 月 6 日～平成 31 年 3 月 8 日	894	
	2RG-FP74HER		FP74HE-500003～FP74HE-500380 平成 29 年 11 月 8 日～平成 31 年 3 月 8 日	378	
	2RG-FP74HGR		FP74HG-500002～FP74HG-500059 平成 29 年 11 月 24 日～平成 31 年 2 月 28 日	58	
	QDG-MM97FH	「ふそう ｴｱﾛｴｰｽ」	MM97FH-82020～MM97FH-82285 平成 28 年 6 月 16 日～平成 29 年 8 月 11 日	45	
	QTG-MS96VP		MS96VP-72001～MS96VP-73364 平成 28 年 5 月 24 日～平成 29 年 8 月 22 日	1,099	
		「ふそう ｴｱﾛｸｨｰﾝ」	MS96VP-72007～MS96VP-73365 平成 28 年 5 月 28 日～平成 29 年 8 月 8 日	266	
	TDG-MM97FH	「ふそう ｴｱﾛｴｰｽ」	MM97FH-82011～MM97FH-82286 平成 28 年 5 月 24 日～平成 29 年 8 月 22 日	231	
	2TG-MS06GP		MS06GP-71001～MS06GP-75270 平成 29 年 6 月 9 日～平成 31 年 3 月 8 日	1,029	
		「ふそう ｴｱﾛｸｨｰﾝ」	MS06GP-71021～MS06GP-75235 平成 29 年 7 月 12 日～平成 31 年 2 月 1 日	185	
	(計 27 型式)	(計 3 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成 27 年 11 月 10 日～平成 31 年 3 月 8 日	(計 12,569 台)	

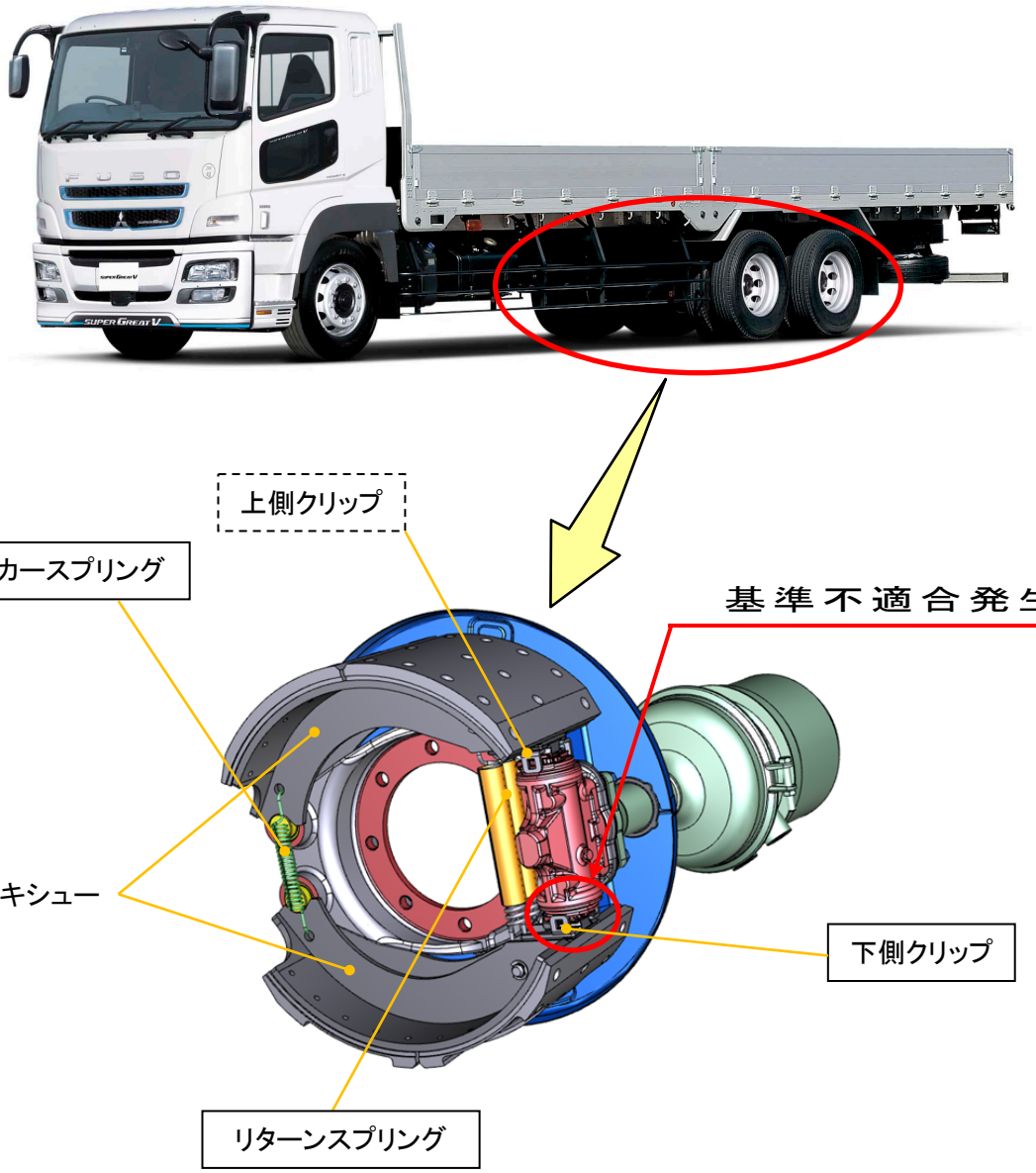
(備考) 本件は、平成 31 年 3 月 12 日付け「届出番号 4457」により、暫定措置のリコール届出を行ったものですが、新たな原因が判明した為、対象範囲を拡大して再度対策を行うと共に、暫定措置が恒久措置として十分な効力を持っていることが確認出来た為、恒久措置への切り替えを行うものです。

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 総排気量（CC）	備考
三菱	QKG-FV64VJR	「ふそう ｽｰﾊﾟｰｸﾞﾚｰﾄ」	トラクタ	キャブオーバ	6R10 (12,808)	
	QPG-FP64VDR					
	QPG-FP64VER					
	QPG-FP64VGR					
	QPG-FU64VY		普通・貨物			
	QPG-FU64VZ					
	QPG-FU65VZ					
	QPG-FV64VJR		トラクタ			
	QPG-FV64VZ		普通・貨物			
	2KG-FV74HJR		トラクタ		6R20 (10,676)	
	2PG-FP74GGR				6S10 (7,697)	
	2PG-FU74GY		普通・貨物			
	2PG-FU74GZ					
	2PG-FU74HY				6R20 (10,676)	
	2PG-FU74HZ					
	2PG-FU75GZ				6S10 (7,697)	
	2PG-FU75HZ				6R20 (10,676)	
	2PG-FV74GZ				6S10 (7,697)	
	2PG-FV74HJR		トラクタ		6R20 (10,676)	
	2PG-FV74HZ		普通・貨物			
	2RG-FP74HDR		トラクタ			
	2RG-FP74HER					
	2RG-FP74HGR					
	QDG-MM97FH	「ふそう ｴｱﾛｴｰｽ」	普通・乗合	ﾘﾔｰｴﾝｼﾞﾝ	6M60 (7,545)	
	QTG-MS96VP				6R10 (12,808)	
		「ふそう ｴｱﾛｸｨｰﾝ」				
	TDG-MM97FH	「ふそう ｴｱﾛｴｰｽ」			6M60 (7,545)	
	2TG-MS06GP				6S10 (7,697)	
		「ふそう ｴｱﾛｸｨｰﾝ」				

改 善 箇 所 説 明 図



エアサスペンションを装着した大型トラック・バスにおいて、リヤブレーキシューを固定しているスプリングの設定が不適切なため、走行時の振動入力によって当該シューが振動してクリップ（シュークリアランスを調整するアジャスターを保持している部品）を叩き、クリップが変形又は破損することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、シュークリアランスが増大し、最悪の場合、リヤブレーキの制動力が低下するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、リヤブレーキシューを固定しているスプリングを対策品に、車両下側のクリップを新品に交換する。なお、上側クリップについては、変形・破損が認められた場合は新品に交換する。

注　：□は交換する部品を、┆┆は変形・破損が認められた場合に交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、左側ドアリヤピラー部に「HD222」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。